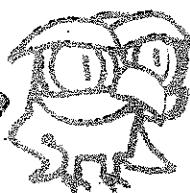
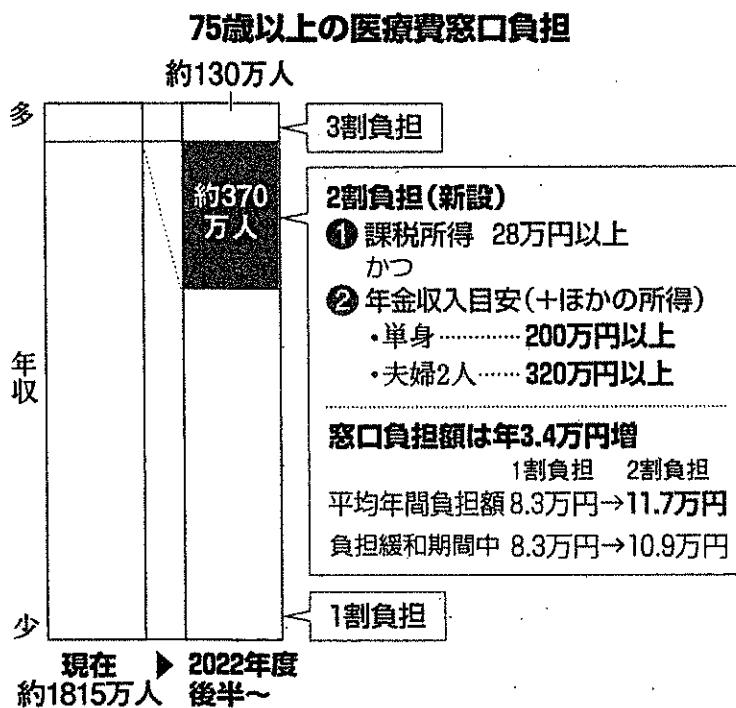


いのちかく  
わかる!



# いりょうひ 病院で払う医療費 75歳以上は増えるの

一定以上の所得がある370万人が2割負担になる



A 木一先生 75歳以上の医療費の負担が変わることか? A 病院や診療所などで払う自己負担の割合のことだね。今は原則、医療費の1割を負担すればよく、現役並みの所得がある人に限る。ある」とはどんな人じや? A まず、世帯の中で最

つて3割の負担だ。これを一定以上の所得がある人について1割から2割に引き上げることになったんだ。

A 木一先生 75歳以上の医療費の負担が変わることか? A 病院や診療所などで払う自己負担の割合のことだね。今は原則、医療費の1割を負担すればよく、現役並みの所得がある人に限る。ある」とはどんな人じや? A まず、世帯の中で最

つて3割の負担だ。これを一定以上の所得がある人について1割から2割になつても、必ずしも負担が2倍にはならない。政府の試算では、病院などの窓口で支払う額は平均で3・4万円の合計が、単身世帯なら200万円以上、ともに75歳以上の夫婦なら320万円以上である。75歳以上の人約1815万人のうち、約370万人が2割負担になる。

A 木一先生 2割負担になる人に象かどうか気になるのう。 A 2割負担になる人は、事前に通知書が送られる予定だ。政府は2022年10月～23年3月の間に引き上げると決めたけれど、具体的な開始の時期は、まだ決まっていないんだ。木一先生 自分の医療費がどれくらい増えるか心配じや。

木一先生 も所得の高い人の、収入から年金の控除や基礎控除などを差し引いた「課税所得」が28万円以上あること。さらに年金収入とほかの所得の合計が、単身世帯なら200万円以上、ともに75歳以上の夫婦なら320万円以上であること。両方の基準を満たせば、対象になる。75歳以上の人約1815万人のうち、約370万人が2割負担になる。

A 木一先生 木一先生 なぜ今、負担を増やすことになったのか? A 人口の多い「団塊の世代」が22年以降に75歳になり始め、医療費が増えるんだ。75歳以上の医療費はいまは、自己負担分を除けば4割を現役世代の保険料でまかなっている。ただ、2割負担になつても、現役世代の負担は1人につき年800円(25年度)軽くな程度だ。今後も議論は避けられないね。(久永隆二)